

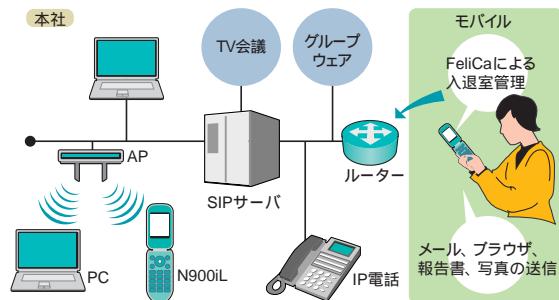
日本コムシス株式会社

デュアル端末を使い映像も取り入れた情報共有

情報通信関連のワンストップソリューションを主力事業とする日本コムシスは、社内外のコミュニケーションを活性化する「モバイルオフィスワークスタイル」を確立。品川・大崎の両本社ビルから全国各地拠点へとシステム利用範囲を拡大した。

フリーアドレス制のオフィスでは、自社商

モバイルオフィスワークスタイルの概要



Profile

日本コムシス株式会社
<http://www.comsys.co.jp/>

所在地

東京都港区高輪3-23-14
(品川本社ビル)

事業内容

NTT情報通信エンジニアリング、電気通信エンジニアリング、ITソリューション、社会システム関連事業など

MCPC award 2007

特別賞

業種	通信設備工事・保守		
活用分野	業務支援・管理	情報共有	
キーテクノロジー	無線LAN搭載 携帯電話	IP電話	映像通信

品であるIP電話ソリューション「comsip」をプラットフォームとして、NTTドコモのFOMA/無線LANデュアル端末「N900iL」約1000台を収容。社内・社外を1台でカバーする電話利用に加え、メールやスケジューラー、掲示板、電子電話帳などWebに対応した既存の業務アプリケーションを外出先でも使える環境を構築している。

さらに、携帯電話のカメラで撮影した映像を自動転送する「ビジュアル報告書」やフロアに配置したWebカメラで別のビルやフロアから社員の状況をリアルタイムで確認する「情景共有」、多拠点の社員が同

じ画面を見ながら、経営陣の話を聞くことができるミーティング用コラボレーション、FeliCa機能を社員証として利用した入退室管理等々、さまざまな付加価値も盛り込んだ。

これにより、社内外どこからでもリアルタイムな情報共有が可能となり、社員間のコミュニケーションも活性化された。外出先からの業務アプリケーション利用を「PCの補完」と割り切り、携帯電話という使い慣れた端末を採用したことで、社員の利用頻度も非常に高い。

同社では、自らのシステム利用で得たノウハウを今後のビジネス拡大に生かしていく構えだ。